

令和 2 年 1 2 月 1 日
国 際 統 括 官 付

はくさんてどりがわ
「白山手取川」のユネスコ世界ジオパークへの申請について

はくさんてどりがわ
白山手取川ジオパークについては、第 40 回日本ジオパーク委員会（10 月 21 日）によるユネスコ世界ジオパークへの国内推薦決定を受けて、11 月 30 日にユネスコへ申請書が提出された。

申請書がユネスコにおいて受領された後、来年以降、ユネスコによる現地審査を経て、ユネスコ世界ジオパーク・カOUNシルにおいて審査が行われる予定。

【参考 1】日本ジオパーク委員会（J G C）

日本ユネスコ国内委員会が、「日本ジオパーク委員会」を、我が国におけるジオパーク・ナショナル・コミッティとして認証するとともに、我が国におけるユネスコ世界ジオパーク事業における登録審査業務に関する権限ある機関として認証。委員長は中田節也 東京大学名誉教授・防災科学技術研究所火山研究推進センター長。

【参考 2】白山手取川ジオパーク登録に向けた流れと今後のスケジュール

2020 年 1 1 月 石川県白山市及び教育機関、文化団体、経済団体、農林漁業団体等により構成された「白山手取川ジオパーク推進協議会」が、ユネスコに対し申請書を提出
2021 年 7 月～8 月 ユネスコによる現地審査
2021 年 9 月 「ユネスコ世界ジオパーク・カOUNシル」において、新規申請案件を審査
2022 年 春 ユネスコ執行委員会においてカOUNシルでの審査結果を承認、決定

※今後の予定についてはコロナの影響により変更の可能性有り

「白山手取川ジオパーク」の概要について

1. 名称

はくさんてとりがわ
白山手取川ジオパーク

2. 構成自治体

はくさんし
白山市（1市）

3. 総面積 754.93 km²

4. 特徴

- ・石川県の白山市全域をエリアとするこのジオパークには、くわじまかせきかべ桑島化石壁（国指定天然記念物）をはじめとする恐竜時代の地層が広く分布し、日本を代表する中生代の化石産地となっている。
- ・日本で最初の化石と地質時代に関する論文がこの地域の産出化石についてであったことから、日本の地質学・古生物学発祥の地と呼ばれている。
- ・発見された動植物化石の種数は、合計で 100 を優に超える。新属新種となった化石も多数あり、中生代の化石産地として世界的にも注目を集めるとともに、生物進化を考えるうえで国際的価値を持つ。
- ・化石や堆積岩の形成プロセスを、現在の手取川流域のコンパクトなエリアで確認できる場所で、「水の旅」「石の旅」というキーワードを使って、地質や地形的要素と人やその他の自然とのつながりがわかりやすく理解しやすい。
- ・エリア内最高峰で古くから霊峰として知られる白山（標高 2,702m）を源として日本有数の急流河川手取川が流れ、V 字谷や峡谷といった浸食地形を発達させ、下流域には日本屈指の美しい扇形をした手取川扇状地を形成している。
- ・冬季の雪の豊富さから年間降水量が多く、四季の変化を感じやすい地域。
- ・白山周辺域は、白山ユネスコエコパーク（Mount Hakusan BR）のほか、白山国立公園や白山森林生態系保護地域など、様々な保護地域にも指定・設定されている。
- ・白山市はジオパーク活動を原動力として SDGs に取り組んでおり、国の SDGs 未来都市に選定されている。

5. 位置とエリア

